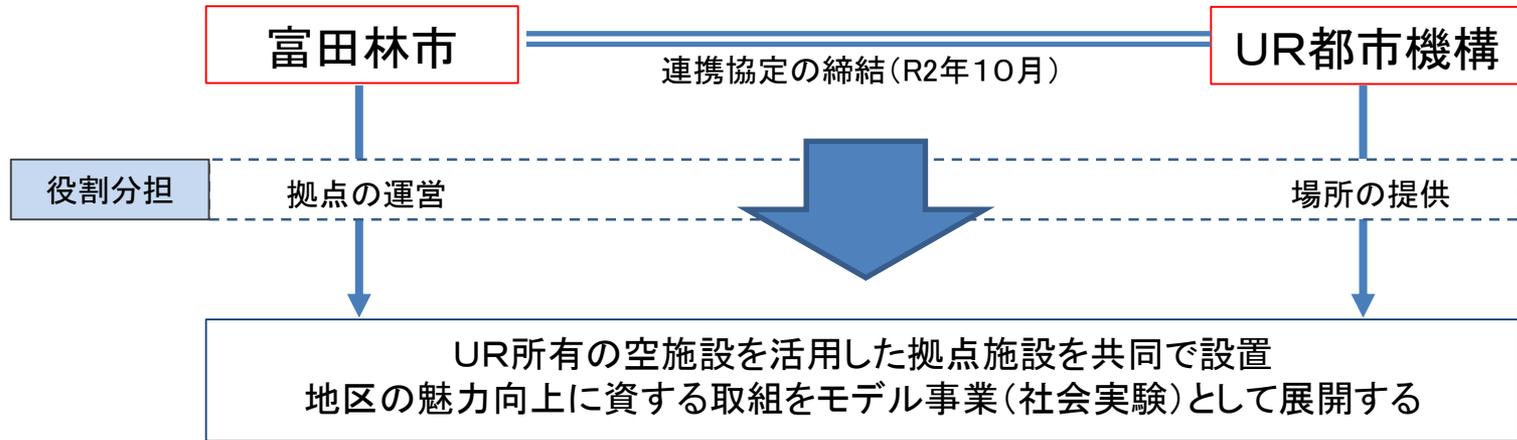


3. 議事

(4) その他

〔市とUR都市機構の連携による地域魅力向上拠点づくり〕

市とUR都市機構の連携による地域魅力向上拠点づくり



<p>取組概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナ・ウィズコロナを見据え、地区の課題解決やニーズに応じた魅力的な拠点運営をモデル事業として実施。 ★「コワーキングスペース」をベースとし、児童・青少年の居場所、高齢者の居場所、住民等の交流拠点、地区の情報発信拠点、防災情報拠点、各種展示スペース、まちライブラリーなど、さまざまな視点による拠点運営を実施。 ・市事業(SDGs未来都市関係の取組拠点、各種講座等の開催)の実施場所としても活用。 ・受注者の独自事業として、定期的にイベントや利用者交流会等を企画・運営する。 ・占用利用だけでなく、様々な取組で共用利用できる、開かれた拠点とする。 ・地区に見合った拠点活用スキームや将来的に地区に導入が必要な機能のあり方を整理。
<p>財源 (予算額)</p>	<p>地方創生臨時交付金(コロナ感染症対応) 500万円(令和2年度) ※令和3年度以降は未定。</p>
<p>事業計画 (業務委託) ※単年度契約。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画準備 ・初期整備等 →備品等整備、通信設備等の環境整備、ウェブサイト開設 etc ※拠点運営の土台作り。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①拠点管理、メンテナンス</p> <p>②拠点運営(モデル事業)の実施</p> <p>③拠点活用スキーム等の構築・整理</p> <p>④将来的な施設再整備等の際に導入する機能等の方向性等を整理。</p> </div> <p>開設時間中は、管理者1名が常駐</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>準備が整い次第運営を開始。R2年度～約2年間の社会実験を経て、地区に導入が必要な機能のあり方を取りまとめる</p> </div>